

団体名

糸満市立喜屋武小学校

連絡先 TEL: 098-997-2298

Eメール: kyan@kyans.city.itoman.okinawa.jp

1 実践事項

タイトル:「幼・こ・小・中・地域との連携を通じた、みさきっ子の育成」

2 実践内容

(1) 地域連携

① 学校行事 (運動会、入学式、卒業式、平和学習等)

児童数減少の小規模校においては、地域との連携が不可欠で、地域の方々に学校行事を盛り上げてもらっている。

令和3年度の平和学習では、バスガイドの崎原真弓さん、千葉梨奈さん(本校児童の保護者)、與那覇琴恵さんを講師に迎え平和学習を行った。崎原さんは、沖縄戦を生き抜いた「おばあ」に扮して戦争の悲惨さを子どもたち、そして戦争を知らない私たち(教職員)にも教えてくれた。崎原さん、千葉さん、與那覇さんの三線と唄で、みんなで平和への決意を新たにすることもできた。

② 地域行事

本校区内には、古き伝統を引き継いでいる行事が数多く残っており、どの行事も喜屋武区のPTAが中心となり準備・演出・運営等を行っている。多くの児童が参加するため、行事当日は早下校を実施するなど、学校も協力しているが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加が難しい状況であった。

(2) こ小連携

① 小学校・こども園 (年長組) 合同による終業式・始業式

② 小学校・こども園合同職員研修会 (こ小連携保育参観、スタートカリキュラム)

③ 3年生 (読み聞かせ)、4年生 (七夕交流会)、6年生 (年長クラスとの交流会)

(3) 小中連携

① 三和中学校区において公開授業を実施し、校区内の児童・生徒の学習状況や生活実態について共通理解を図っている。また、タブレットドリル活用についての合同研修を行い、授業におけるタブレット活用の技術向上を図った。

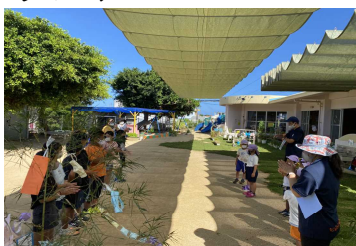
② 三和中学校の生徒と三和中学校区3小の6年生を対象にパラリンピックメダリストによる講演会を実施予定である。講師の人生観・経験などから多くのことを学び、自分の夢を実現しようとする実践意欲を育てる機会としたい。

③ 中学校生活やきまりなどをしっかり理解してもらい、小・中学校間の学校生活の違いや感覚のズレを埋める事を目的として、3月に小学校交流授業(新入生体験)を実施している。この体験から、小学校6年生が中学校生活の具体的なイメージを持って入学することができ、「中1ギャップ」の解消に繋がっている。

3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)



平和学習 (平和集会)



4年生と子ども園の七夕交流会



2学期終業式に参加する子ども園児

4 成果

- こども園児と小学生が交流を行うことで、新入生が小学校の生活や教科の学習にスムーズに適応することができている。
- こ・小・中での研修会や交流活動を通して児童の発達段階やこども園・小学校・中学校それぞれの教育課程等についての相互理解が深まった。
- 三和中校区3小の特別支援学級で小・小連携のハッピークリスマス会を行い、交流を深めることができた。

5 課題

- 学校によって連携状況のばらつきがある。
- こ・小・中連携の取り組みを実践するまでの計画・立案や環境の整備について、さらに職員間や学校間で共通理解を深めていく必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響により、地域行事への参加が減少したことで地域の方々との交流の場を持つことができていない。